

埼玉地区壮年部 秋の研修会 報告

地区壮年部委員会委員長 市川 浩（飯能教会）

開催日：2019年11月16日（土）13：00～15：50

会 場：特別養護老人ホーム 草加キングス・ガーデン

テーマ：『共に輝きの時を探る ～老人ホームを訪ねてみよう～』

参加者数：19人（8教会+1施設）

内 容：

第1部 開会礼拝 13：00～13：40

説教者：川染三郎牧師（鴻巣教会）

聖書箇所：コリントの信徒への手紙一 12章23～26節

説教題：「共に生きる喜び」

讃美歌：519番、566番、29番（共に讃美歌21）

席上献金：15,700円

- ・川染先生には、長い50年にも及ぶ伝道生活から、主に重荷を負っていただいたこと、また、周りの人々（教会員・牧師仲間の意）に重荷を負ってもらったことで、充実と成熟が与えられたことを説き明かしていただいた。
- ・強いものは弱いものを、愛をもって助ける。弱いものは強いものに助けられて成長する。そのような人と人とのつながりは信頼関係によっている。
- ・信頼関係を壊すような、利益中心（＝生産性や効率重視）の原理によって共同体を作つてゆくのではなく、互いの重荷を負い合うことで深い信頼関係に満たされた共同体を形成しよう。
- ・自分ひとりの生活や人生の中で利益のみを追うなら、他者を拒み自分のみの生と死を完結させることになる。そこには復活への希望は無い。

復活の信仰は、人の中に神の働きを新たに覚えさせ、自分ではないものを受け入れる場所を作るから、互いの中に相手の居場所を作る。

・復活を与えてくださる神の恵みによって、互いに相手を受け入れ、重荷を負い合い、共に生きる喜びを感謝して生きよう。



川染先生によるみ言葉の説き明かし

第2部 施設紹介 13:40~14:20

草加キングス・ガーデン職員の森様から施設の紹介をしていただいた。

予定では、施設長の井上公子様が施設紹介を行うことになっていたが、台風によって被災した川越キングス・ガーデンの復旧のための緊急会議に出席とのことで、森様に変更となった。

川越キングス・ガーデンの一日も早い復旧を祈るものである。

紹介内容

- ①「夕暮れ時に、光がある（聖書）」「神に仕えるように利用者に仕える」「社会に支えられ、社会に仕える（隣人を愛する）」の三つの理念の基に運営されていること。
- ②社会福祉法人 キングス・ガーデン埼玉の歩みと草加キングス・ガーデンの位置づけ。
- ③草加キングス・ガーデンの提供するサービス内容
 - ・特別養護老人ホーム（要介護3~5の方などの条件が重い。）
 - ・ケアハウス（老人福祉法の下で運営され、介護不要の入居者を受け入れる。
健康管理などの多彩なサービスを提供する。）
 - ・在宅介護に関する以下のサービス
 - ショート・ステイ（1日30人受け入れ可能）
 - デイ・サービス（1日35人受け入れ可能）
 - 訪問介護
 - 居宅介護事務（ケアマネージャーが常駐し利用者の介護プランを立てる。）
 - 草加市谷塚西部地区包括支援センター（草加市からの委託事業）
- ④草加キングス・ガーデンの特徴
 - ・ケアハウス入居者の平均年齢は84歳で、平均入居期間（つまり入居時から逝去まで）は7年7ヵ月。



- ・入居待ちは1人部屋で、80名程になっており、4年~5年待たなければならない。
- ・クリスチャンの入居者は、76%（特養はもっと少ない。）
- ・諸派の牧師先生の支援のもとで毎日礼拝を行っている。受洗者もいる。

施設紹介に聴き入る参加者の皆さん

第3部 施設見学 14:20～15:10

特別養護老人ホームとケアハウスを見学させてもらった。

- ・とにかく広い。迷路のようであった。
- ・施設内は随所にクリスマスの飾りつけがなされていて、華々しかった。
- ・研修会参加者の皆さんは、ケアハウスに大変興味を示され、質問も多かった。特に、個室が広く使い勝手が良さそうな事がわかった。



広い食堂とクリスマスの飾り付

第4部 交流会・懇談会 15:10～15:50

施設職員の森様とケアハウス入居者の乙部様（元越谷教会教会員）に質問を受けていただいた。

質問は、

- ・費用の詳細
- ・施設職員の待遇や教育訓練
- ・ボランティアの参加方法
- ・キングスガーデン連合について

などが出された。

最後に、埼玉地区壮年部委員会書記の田島章義さん（春日部教会）が閉会祈禱を行った。

例によって、埼玉地区壮年部の集りは少人数となったが、天候にも恵まれて楽しい研修会となった。また、19名の参加者のうち婦人が7名（ご夫妻での参加が3組）も与えられたことも喜びであった。会が華やかになってよろしかった。感謝であった。

以上